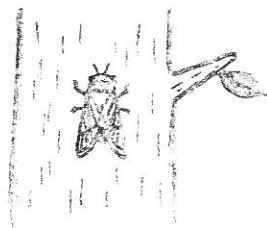


6月末の1週間は、涼しい日が続いていましたが、7月に入った途端いきなりの猛暑日で、子どもたちの体調が心配です。

とはいえ、関大幼稚園は周りの樹木が“緑のカーテン”の役目をしてくれていて、熱風ではない風がよく通ります。初めて来園された方や卒園された方が、「幼稚園に入ったら、外の世界と違う空気が流れているような気がします。」とおっしゃってくださるのは、自然に守られているからだに感謝しています。そんな自然に対する思いを子どもたちにも伝え、感じてほしいと考えて過ごす毎日です。

午前中は比較的涼しいのですが、状況を見てエアコンを入れるようにしています。額に汗しながら夢中で遊ぶ姿は子どもの証ですし、汗をかくことも大事だと思いますが、汗をかいた時にはどうすればよいかという生活面での指導も大切です。外から帰ったら手を洗い、うがいをするという習慣と同じように、年齢なりに自分の身体に関心を持たせ、自分のことは自分でできるように意識させたいと考えています。

2、3日前からセミが鳴き出しました。年長児が「セミ！セミが鳴いてるよ！」と嬉しそうに知らせてくれました。私には暑さを増長する声にしか聞こえないのですが、子どもたちにとっては、“楽しみな夏”“夏休みのセミ取り”を思い描いているのでしょうか、声を弾ませてのその知らせに、「ほんと！どこで鳴いてるのかな？」なんて、その子につられてウキウキしてしまいました。



さて、昨日（7月5日）は、年長児たちが笹取り（竹運び）をしました。全長10メートル近くある大きな竹を、大学構内の竹林からゆきぐみ1本、ほしぐみ1本、「わっしょい！」「わっしょい！」と言いながら運んでくれました。1本はホールに飾り、もう1本はお家に飾る分です。その他にもお家に持って帰るものとして役員のお母さんがもう1本運んでくださり、計2本分の枝を落として持ち帰り用を準備してくださいました。



年長児が幼稚園に戻ってくると、お部屋で短冊を描いていた年中児たちが、「おかえり！」「ありがとう！」と言いに出てきて、ちょっぴり誇らしげな年長児は、額の汗も吹き飛ばすような達成感を感じているように見えました。道中、セミが鳴いていたか・・・わっしょいの声が大きくて、聞こえませんでした。

年長児はその後、先日自分たちで作った梅ジュースを飲んで、ほっと一息つきました。

### 梅ジュース

6月の初め、卒園された方から梅の実をたくさん頂戴しました。

担任が洗った梅の実を、年長児がきれいにキッチンペーパーで拭き、竹串でへそを取り、汁が出るようにツンツン実に穴をあけました。

氷砂糖と一緒に入れて、いつになったら美味しいジュースになるのか楽しみに待っていたようです。

年少・年中児にも近いうちに飲ませてあげようと思っています。\*飲めない場合は至急担任にお知らせください。

